

校長通信（11月号）

December 4th / 2024 / VOL 025

誰かのために生きてこそ

つい先日のこと。校内を歩いていると、ある生徒と廊下でばったり。談笑していると、急に彼が「人ってなんのために生きてるんだろう・・・。」とボツリ。びっくりした僕は「なんでそんなふうに思うの？」と聞くと、色々あったように思い悩んでいる様子でした。これから先、何を目標にしていかわからないと言う彼に、「〇〇のおかげで喜んでいる人もたくさんいると思うけど」と伝えました。

11月25, 26日に岡山県にある私立高校を訪問させていただきました。30年ほど前から学校改革が始まり、今や岡山県だけでなく、全国にその名を轟かせている素晴らしい学校の一つです。学業面も、部活動も、生徒の主体的な活動も、地域内外から高い評価を受けています。そんな学校を訪問させていただいた際、教育活動の説明だけでなく、懇切丁寧なおもてなしをいただきました。その学校の教育理念には「利他の心」というものが掲げられていました。利他とは、自分よりも他者の幸福を願う、あるいは他者のために努力することです。日本の精神とも呼ぶべきこの考え方は、京セラやJALの再建を果たした「経営の神様」と称えられる稲盛和夫氏も唱えています。学校内を見学した際、一人一人がとても自然体で挨拶をしてくれます。掃除の時間には全員がそれぞれの持ち場で役割をしっかりと果たしていました。一人ひとりが異なるプロジェクトを持ち、地域のために何ができるか、その視点をさらに世界に広げていくために、海外へと積極的な越境をしていく。誰かのために自分はこの地で何ができるか、そしてその思いを世界に広げていくにはどうしたらいいか。「誰かのため」というその思いは地域に、世界に広がっていきます。

この利他の心が、今、そしてこれからの日本においてもっとも大切なものになると私は思っています。時代の流れに伴い家庭環境や地域社会も変化し、人々の関係性は希薄化し、子供たちが居場所を感じることでできるコミュニティはなくなりつつあります。これまでのアナログなものが次々と効率化し、個別化される一方で、利己的な考え方が増えると同時に、他者への共感力は低下していると言われています。また、与えられることに慣れすぎた人々は、すぐに批判したり、人のせいにする傾向にあります。自分の利益や都合を優先する人は、自分の都合通りにならない時に、他人を非難するのです。自分は悪くない、自分の思うように動かない人、組織、社会が悪いといえます。そして、自分自身には非がないと言い、考え方や行動の改善をせずに、同じことを繰り返してしまう。それが、今の日本の現状なのではないでしょうか。

これが他者のためにという意識で生きた場合どうでしょう。他者のために何ができるか、他者を喜ばせるために何ができるか、他者の困りごとを解決するためにはどうしたらいいのか。自分のためにできる努力はたかが知れていますが、他者のためにする努力は底がありません。そして、他者のために何かができたと、役に立てた時、貢献できた時、私たちは本当の幸せを感じることができるのです。利他の心を持つことで、私たちは今以上の幸せを感じることができるようになるのではないのでしょうか。ただし、利他の精神を自己犠牲の精神と混同してはいけません。誰かのためにと思って努力することが、結果的に自分を犠牲にし、自分の心をすり減らすようなことは絶対に良くありません。誰かに向けた行動が、誰かを幸せにすると同時に、自分自身のやりがいや幸せに結びついていなくてはなりません。

人はなぜ学ぶのか。なぜ生きるのか。それは、自分以外の誰かのためです。友人、家族、地域、自分に関わる人たちすべてのため。御殿場西高校の生徒はそんな大人になって欲しいと思いますし、そんな学校でありたいと思っています。この先どれほど社会が変わっても、時代が変わっても、御殿場西高校の根幹は決して変わることはありません。誰かを思う心、地域を思う心、世界を思う心を僕たちは大切にしていきたいと思います。

仰高祭（文化の部）2024が開催されました

御殿場西高校において最も大きなイベントの一つである仰高祭（文化の部）が開催されました。今回は保護者会の皆様のサポートでキッチンカーがなんと9台も！生徒たちは校内装飾、クラス展示に力を注ぐことができ、これまで以上に華やかな文化祭になったのではないのでしょうか。ただし、これをさらに生徒主体にしていかなくはなりません。企画、予算確保、広報、運営まですべてを生徒がやらなくてはいけません。文化祭の場を与えられる側から、自分たちがゼロから作る側へ。



英語科イベント開催

今年度から、英語科の先生方とESL部のみなさんが主体となってあるイベントが開催されています。その名も「GoSpeak」です。本校の生徒が、市内の小中学生たちと英語を使って交流するもの。英語科の先生方はサポートスタッフです。生徒たちの交流が本当に素晴らしい。英語ができてできなくても、こうした交流が好きだと感じて欲しいと心から思います。「先輩みたいになりたい！」と参加した小中学生が言ってくれているみたいです。そんな本校の生徒の皆さんが、僕は心から誇らしいです。



HSコンソーシアム2024 地域留学

11月18日（月）～24日（日）の1週間、ハイスクールコンソーシアム2024地域留学を受け入れました。福岡女子商業高校から4名、栃木県の星の杜高校から2名が御殿場西高校での学校生活とホームステイ体験を実施しました。「越境」は御殿場西高校が大切にしている教育活動の柱の一つです。今回、本校の生徒たちだけでなく、私たち教職員も、新たな出会い、経験をすることができ、とても有意義な学びの機会となりました。



保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。2024年もいよいよ残すところ1ヶ月を切りました。年々、「あっという間感」が強くなってきていると個人的に感じております……。年を重ねた証拠だなとしみじみ……。

2つお礼を申し上げたいと思います。まずは、仰高祭にキッチンカーを9台も呼んでくださり、文化祭を賑やかにしてくださったこと、心より感謝いたします。生徒たちもクオリティの高いフードの数々に大満足でした。

もう一つは、今回、地域留学で多くの保護者の皆様にホストファミリーへのご協力をいただいたことです。今回の地域留学は保護者の皆様からのサポートなしでは決して成立できなかっただろうと思っています。本当にありがとうございました。

今年も残すところわずか。生徒と保護者の皆さんには、体調には十分に気をつけながら、1日を大切に過ごしていただきたいと思います。

